



パートナー通信

Vol.4 2025年11月

発行: おだわらSDGs実行委員会
(事務局) 小田原市政策調整課
小田原市栄町1-1-15ミナカ小田原
小田原新城下町2F おだわらイノベーションラボ
☎080-4429-6253

「おだわらSDGsデイ2025」を開催しました！

9月27日（土）、みんなでSDGsに触れ、次のアクションにつなげるため、「おだわらSDGsデイ2025」を開催しました！

パートナーの皆さんにもご協力いただき、ご来場いただいた子どもから大人まで、SDGsについて考える貴重な機会となりました！



SDGs体感ブース

ご協力いただいたパートナーが工夫を凝らし、誰もが楽しめる「SDGs体感ブース」を設置しました！

(独) 国立印刷局小田原工場

～参加パートナー一覧～

- ・(株) 明日葉
- ・小田原短期大学
- ・(独) 国立印刷局小田原工場
- ・日本新薬(株) 小田原総合製剤工場
- ・積水ハウス(株)
- ・(株) 神鋼環境ソリューション
- ・相鉄企業(株)

皆さんご普段何気なく使っているお札には、年齢や国籍、障がいの有無に関わらず、誰でも使いやすいように「ユニバーサルデザイン」が取り入れられています。

ブースでは、目を閉じて手触りだけで券種を当てるクイズなどを体験してもらいました。

「お札にこんな技術があるなんて知らなかった」「ユニバーサルデザインを体験できておもしろかった」などの感想をいただき、来場者に楽しみながらSDGsを学んでもらう機会となりました。



パートナー通信

Vol.4 2025年11月

発行: おだわらSDGs実行委員会
(事務局) 小田原市政策調整課
小田原市栄町1-1-15ミナカ小田原
小田原新城下町2F おだわらイノベーションラボ
☎080-4429-6253

ライブチョークアート

小田原城北工業高等学校、小田原短期大学、(社) アール・ド・ヴィーヴルにご協力いただき、黒板壁紙にSDGsをテーマとした絵をその場で描く「ライブチョークアート」を実施しました！

小田原短期大学の学生



黒板壁紙に絵を描くことは初めてだったので、苦戦しました。

今回の作品のコンセプトを考えるうえで、先輩が昨年描いたチョークアートを見ながら皆でアイデアを出し合い、波をつなげることにしました。

「次へ次へと受け継がれるように」という願いが込められています！

ユースレイディオ公開収録

大学生のせなさん・りんさんがパーソナリティを務める「おだわらSDGsユースレイディオ」。おだわらSDGs実行委員会会長や小田原市長、ご参加いただいたパートナーをゲストに迎え、公開収録を行いました！



りんさん

いつものスタジオを飛び出し、ステージの上の収録はとても緊張しましたが、会場の皆さんが目の前にいることで「伝わっている」を実感でき、ワクワクしました。

自分のまちでSDGsの活動が盛んに行われていることや、地域の人たちが交流できる場があることを嬉しく思います。

私たちユースレイディオも、小田原市のSDGsの取組はもちろん、地域全体の魅力を伝えられるよう、より一層頑張っていきたいと思います！

放課後児童クラブ作品展示

市内にある放課後児童クラブの児童が力を合わせて制作したSDGsアートを展示しました！

(株) 明日葉

株式会社デコリアに黒板壁紙の端材をご提供いただき、児童クラブの子どもたちが夏休み期間に制作したアート作品を、昨年に引き続き展示しました。

また、「体感ブース」では、小田原短期大学とコラボし、廃材を使ったヨーヨーやコマ作りのワークショップを実施しました。

これからもパートナーの皆様と共に創り、児童クラブで過ごす子どもはもちろん、地域の子どもたちに、自分が住む地域や環境を考える機会を作っていくきます。





パートナー通信

発行: おだわらSDGs実行委員会
(事務局) 小田原市政策調整課
小田原市栄町1-1-15ミナカ小田原
小田原新城下町2F おだわらイノベーションラボ
☎080-4429-6253

第8期おだわらSDGsパートナー紹介

前号 (Vol. 3) に続き、今号でも「第8期おだわらSDGsパートナー」のSDGsの取組や意気込みについて、ご紹介いたします！

Recovery and Reload

害獣とされてしまった野生獣を余すことなくアップサイクルすることで、頂いた命を無駄にしないよう、ジビエレザーなどに生まれ変える事業を展開しています。

SDGsの17の目標のうち、狩猟に関わるのは9つもあり、アナログな活動ながらも環境に関わることの多い事業です。

ジビエ肉は食肉として利用されていますが、毛皮は破棄されてしまうのがほとんど。そんな毛皮を環境に優しい植物タンニンで鞣(なめ)し、赤ちゃんの敏感肌にも優しいジビエレザーを身に着ける『Wild Life Style』を提案しています。

江之浦果樹園 maruesu (同)

農家の高齢化や後継者不足、休耕地拡大等の課題に向き合う「江之浦果樹園maruesu」を設立しました。

味は良いのに皮の傷や大きさの不統一で市場に出ない規格外みかんに付加価値を加え、ジュースなどの商品を開発。観光客向けの販路も広げ、江之浦の魅力を発信しています。

これからも地元農家さんと共にみかんのおいしさを最大限に活かし、地域を豊かにする持続可能な農業の発展を目指します。

発行: おだわらSDGs実行委員会
(事務局) 小田原市政策調整課
小田原市栄町1-1-15ミナカ小田原
小田原新城下町2F おだわらイノベーションラボ
☎080-4429-6253

第8期パートナー紹介 part 2

(有) 大和館

当旅館は江戸時代初期からの伝統と源泉かけ流しの良質な温泉を守り、地元工芸・作物の活用等、地域連携を推進し、情報発信に努めています。

また、新事業『寺子屋旅館プログラム』では、「温泉授業」や「温泉水書道®教室」、「女将ガイドさんば」などの地域文化体験教室を提供しています。

企業・地域・学校・観光客とのパートナーシップで、文化継承と持続可能な観光社会の実現に取り組みます。



サーヴ住設(株)

当社が運営する「タスカル」は、地域の小規模クリエイター支援を行い、資源循環や地域活性化を推進しています。

また、不用品再利用販売の売上的一部分を、日本対がん協会に寄附しています。

コインランドリーでの高齢者支援を通じて、包摂的なまちづくりを実現し、SDGsの達成に貢献します。

(有) スドウエ営

当社は自社保有の粉碎機による廃棄物削減、小型焼却炉を活用した紙ごみの適切な処理など、環境負荷低減に向けた取組を積極的に推進しています。

これらの活動を通じて、持続可能な地域社会の実現に貢献していきますので、どうぞよろしくお願いします。

(一社) FROM PROJECT

一般社団法人FROM PROJECT (ふろぷろ)は、SDGsの目標4「質の高い教育をみんなに」、目標11「住み続けられるまちづくりを」、目標17「パートナーシップで目標を達成しよう」に重点を置き、若者が地域課題に主体的に関わる実践型プログラムを開催しています。

多世代交流を促進するワークショップや発表の場を通じて学びを地域に循環させ、市・学校・企業・NPOと協働しながら、持続可能なまちづくりを推進しています。

ライグリッド(株)

当社は自然環境に配慮したアウトドア体験を提供し、自然との共生、地域経済の活性化、健康促進を推進しています。

SDGsの達成を目指し、地域社会と連携しながら、持続可能なライフスタイルの普及に努めています。